

11 影響力係数と感応度係数

他産業に対する影響力の強い産業は、非鉄金属、鉱業、水道。
他産業の影響を受けやすい産業は、対事業所サービス、運輸・郵便、商業。

影響力係数と感応度係数により本県各産業の特徴を見ると、他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに強い業種（図1の第1象限）は、鉄鋼、非鉄金属、電力・ガス・熱供給、情報通信等である。

他産業に対する影響力が強く、他産業から受ける感応度が弱い業種（第2象限）は、鉱業、電子部品、水道等である。

他産業に対する影響力、他産業から受ける感応度がともに弱い業種（第3象限）は、農林水産業、化学製品、生産用機械、電気機械等である。

他産業に対する影響力が弱く、他産業から受ける感応度が強い業種（第4象限）は、商業、不動産、対事業所サービス等である。

影響力係数

ある産業に対する需要が全産業に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど他産業に対する影響力が大きい。

影響力係数＝逆行列係数表の各列和／逆行列係数表の列和全体の平均値

感応度係数

全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

感応度係数＝逆行列係数表の各行和／逆行列係数表の行和全体の平均値

表 1 影響力係数と感応度係数

《第2象限》	影響力係数	感応度係数	《第1象限》	影響力係数	感応度係数
06 鉱業	1.161874	0.923577	16 パルプ・紙・木製品	1.040206	1.004481
11 飲食料品	1.001877	0.841219	26 鉄鋼	1.043224	1.031426
25 窯業・土石製品	1.034994	0.860012	27 非鉄金属	1.128564	1.123281
28 金属製品	1.014804	0.861551	41 建設	1.009077	1.053226
32 電子部品	1.054420	0.824621	46 電力・ガス・熱供給	1.075720	1.411733
39 その他の製造工業製品	1.052375	0.930731	59 情報通信	1.027956	1.233663
47 水道	1.104807	0.889998			
《第3象限》	影響力係数	感応度係数	《第4象限》	影響力係数	感応度係数
01 農林水産業	0.939433	0.925898	51 商業	0.946043	1.774398
15 繊維製品	0.974904	0.800283	53 金融・保険	0.962604	1.222928
20 化学製品	0.986239	0.835291	55 不動産	0.872809	1.116414
21 石油・石炭製品	0.988271	0.770295	57 運輸・郵便	0.994244	1.807770
22 プラスチック・ゴム	0.959123	0.936640	63 教育・研究	0.902987	1.067299
29 はん用機械	0.980732	0.797951	66 対事業所サービス	0.915001	2.193260
30 生産用機械	0.984631	0.780890			
31 業務用機械	0.953467	0.751244			
33 電気機械	0.976597	0.755838			
34 情報・通信機器	0.960812	0.747770			
35 輸送機械	0.910185	0.796082			
48 廃棄物処理	0.910286	0.879391			
61 公務	0.955106	0.961637			
64 医療・福祉	0.937828	0.775838			
65 その他の非営利団体サービス	0.980984	0.791980			
67 対個人サービス	0.974423	0.789702			

注：37部門逆行列係数表（開放型）による

